

☆部活動ミーティング

4月26日(金)の放課後に「部活動ミーティング」がありました。それぞれの部が新しい体制で1年のスタートを切るとともに、新1年生が入部する日でもあります。

各部では部長や部員が自己紹介をし、顧問の先生から部の方針や練習等について説明がありました。各部がそれぞれしっかりとした態度で臨んでいましたが、何より素晴らしかったのは、どの部もカバンや上履きが丁寧に廊下に並べられていたことです。

ちょっとしたことですが、こういうところに気を配れる人は、「自分がどのように練習に臨めば、技術や能力が向上するか」「何が大切なことなのか」「どうすればより良くなるのか」などをきちんと考えながら取り組める人だと思います。

「強い選手」になることより、「良い選手」になることを、常に心がけてほしいと思います。



☆AZM活動

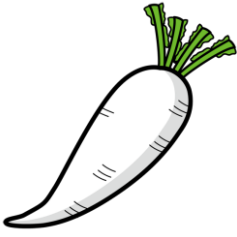
5月10日(金)と13日(月)の朝、生徒会本部役員や2年生の学級委員の皆さんが、あいさつ運動とインターロッキングの清掃をしていていました。



市の春季大会や10日間あった長いゴールデンウィークも終わり、1学期も1ヶ月以上が過ぎました。家庭訪問や県大会、高原学校(1年)、東京班別学習(2年)、修学旅行(3年)と、まだまだ行事が盛りだくさんで慌ただしく日々が過ぎていきます。

そんな忙しい中でも、AZM活動に取り組む皆さんの姿を見て、うれしく思います。

☆「興味を持つ」ということ(読書のきっかけ)



国語の授業で皆さんが書いた感想文や意見文をまとめたプリントを、必ず私に見せてくれる先生がいらっします。私も国語の教師ですので、いつも「ありがたいな」と思っています。先日も、1年生の教材である「ダイコンは大きな根？」という説明文を学習した生徒の感想を読ませていただきました。その中のいくつかを紹介します。

- 「普段何気なく食べている野菜も植物としてみると興味深い発見がある。」と筆者が言っていたけど、本当にそのとおりだと思った。他の野菜のことを書いた本を読みたい。
- 大根は、根からできていると思ったら、違って、胚軸と根からできていることが分かりました。それに、上と下で甘さが違うことが、とても面白いと思いました。(中略)上下でどれくらい味が違うのか、自分で食べてみたいと思い、野菜に興味を持ちました。
- いつも気にしないで食べている大根も、いろいろな見方でおもしろい発見があるとわかった。私もいつも気にしていないものを観察したり調べようと思った。

いつもは経験しないような出来事を知ったり、身の回りにある何でもないものに思わぬ秘密が隠されていたり、など、私たちは様々なことを体験し、いろいろなものに興味を持ちます。そして、紹介した感想文にあるように、知らなかったことを知って、さらに興味を持つことはとても良いことですし、「もっと調べてみたい」という気持ちになることは、たいへん素晴らしいことです。

しかし、すぐに試して見ることができるもの、体験できるものもありますが、残念ながら、世界の遠いところでしか見るができなかったり、私たちの手に入らないものだったりすることも多いものです。

その問題を解決してくれるものが「本」です。本には様々なジャンルがあり、「見たい」「知りたい」と皆さんが思うことに確実に応えてくれます。もちろん、インターネットで調べても分かります。インターネットなら、あっという間に調べることができるでしょう。しかし、インターネットが「本」にかなわないことがあります。それは、「深く知る」ということや「皆さんの知的好奇心を満足させる」ということです。

事実、教科書を読んで「知りたい」「調べたい」と思いましたね。それは、「頭の中で想像しながら文章を読む」「考えながら文章を読む」という行為が皆さんの知的好奇心をくすぐるからです。眼から脳へ、脳から心へ、文章が訴えかけるからです。

忙しいときに、「ちょっと知りたいな」という時にはインターネットが力を発揮しますが、「なぜ、そうなのか」「どうして、そうなったのか」「始まりは何だったのか」「これからどう変わっていくのか」「私たちに、どんな影響があるのか」など、知りたいことの始まりの部分から、どんどん知識が広がって増えていくのは、「本」を読むことが一番ではないでしょうか。

知りたいことがあったら、インターネットも良いですが、図書館に行ってみましょう。きっと、皆さんの知的好奇心を満足させてくれる本に巡り会えるはずですよ。

